平成３１年１月２３日
道路交通局道路交通企画課

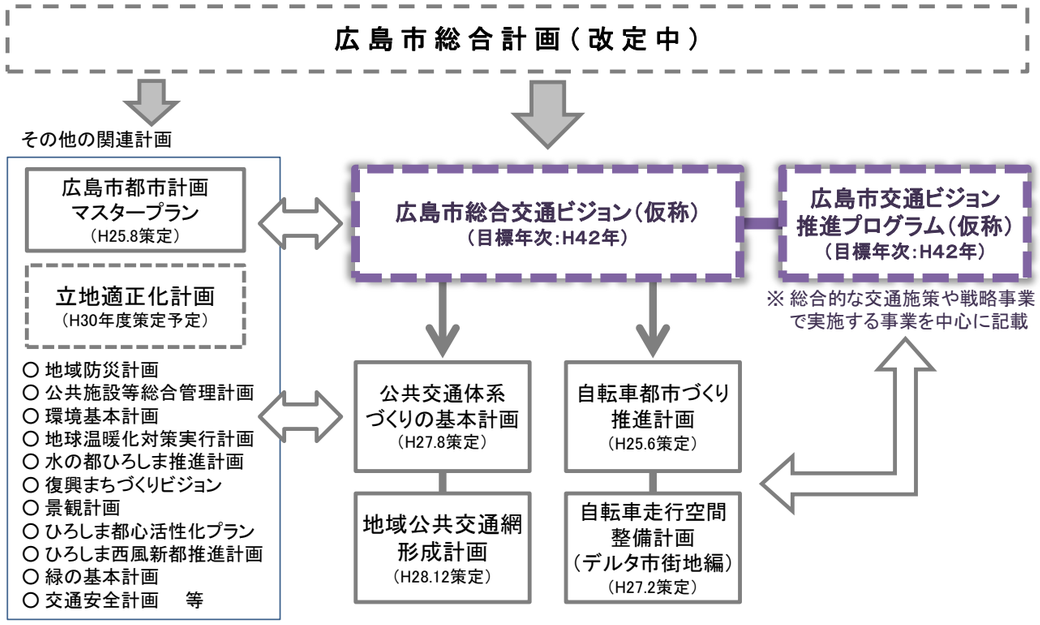
広島市総合交通戦略の改定に向けた検討の方向性について

■ 改定方針

現行の広島市総合交通戦略は、本市の交通政策の進路の全体像と具体的な交通施策を位置付けて、平成２２年７月に策定したものである。

この度の改定では、社会経済情勢の変化等を踏まえながら、現在、改定に向けた取組を進めている広島市総合計画やその他の関連計画との整合を図りつつ、概ね１０年後の将来に向けた交通政策の進路の全体像を示す「広島市総合交通ビジョン（仮称）」と、当該ビジョンで掲げた将来像を実現するための総合的かつ戦略的な交通施策と実施プログラムを位置付ける「広島市交通ビジョン推進プログラム（仮称）」を平成３１年度末を目途に策定する。

≪ 関連計画体系図 ≫



■ 広島市総合交通ビジョン（仮称）の骨子イメージ

１　総論

⑴ 目的

公共交通、自動車、自転車、徒歩の適切な役割分担のもと、魅力ある将来像と安全で円滑な交通を実現するため、総合的な都市交通のビジョンを作成する。

⑵ 計画の位置付け

交通分野における部門計画（公共交通、自転車などの個別の部門計画等の指針となる基本計画）

⑶ 対象地域等

広島市域。ただし、広島広域都市圏内における交通網の充実・強化の観点から、周辺市町と連絡する広域交通網の機能強化に向けた取組も対象とする。

⑷ 目標年次

改定から概ね１０年後とする。（参考：都市計画マスタープランの目標年次平成４２年（2030年））

２　本市の概況

⑴ 広島市の地理的特徴等

狭い平野を高度に活用しコンパクトに形成された市街地、太田川河口部のデルタが都市の中心、郊外の丘陵部を中心に多くの住宅団地 等

⑵ 社会経済情勢の変化

- 少子高齢化の進行、人口減少社会の到来（社会保障費等の増大に伴う都市財政の圧迫）
- ICT(情報通信技術)の進展（新しいモビリティサービスの推進等）
- 訪日外国人の増加
- 地球環境問題の深刻化
- 災害リスクの高まり　　等

⑶ 都市の将来像

- 集約型都市構造への転換
  （楕円形の都心づくりの推進、公共交通の充実･強化、骨格的な道路の整備 等）
- 200 万人広島都市圏構想の実現
  （圏域内の公共交通網や広域幹線道路ネットワークの充実･強化、“循環が活気をもたらすまち”の構築 等）

３　本市における交通の現状と課題

⑴ 交通の現状等

ア 交通の現状（公共交通、自動車、自転車、徒歩の交通手段ごとの整備・利用の状況など）

イ 交通の実態（平成 30 年 12 月実施の交通実態調査等に基づく交通実態分析など）

⑵ 交通の実態及び現状を踏まえた交通課題（検討中）

- 楕円形の都心づくりに資する交通環境の整備
- 集約型都市構造を支える交通ネットワークの充実･強化
- 地域特性に応じた移動手段の確保（デルタ市街地、デルタ周辺部、中山間地・島しょ部）
- 広域的な交通ネットワークの充実･強化
- 持続可能な交通ネットワークの構築（効果的・効率的な社会資本整備）
- 安全で快適な移動しやすい交通環境の確保
- 来訪者の受入環境の整備
- 災害に強いまちづくりに資する基盤の整備　　等

現状

交通課題(案)

４　交通ビジョン

⑴ 計画のコンセプト･目標（検討中）

- にぎわいと交流を生み出す求心力のある都心の形成
- 地域特性に応じた持続可能な交通サービスの確保
- 循環の基盤となる広域的な交通ネットワークの充実･強化
- 将来にわたる安全･安心な交通ネットワークの構築

検討の視点(案)

⑵ 広島市が目指す交通の将来像（検討中）

■ 広島市交通ビジョン推進プログラム（仮称）の骨子イメージ

１ 計画の概要
２ 現状と課題
３ 広島市が目指す交通の将来像
４ 実施施策
５ 実施プログラム
６ 施策の推進　（関係機関等による連携･協力体制、評価指標等による計画の見直し 等）

■ 広島市総合交通ビジョン（仮称）における交通課題と検討の視点の整理

都市の将来像

- 集約型都市構造への転換
  - ・公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり
  - ・楕円形の都心づくり
- 200万人広島都市圏構想の実現
  - ・圏域内の連携強化
  - ・循環が活気をもたらすまち

社会経済情勢の変化

- 少子・高齢化の進行、人口減少社会の到来
  - ・ライフスタイルや世帯構成の多様化
  - ・社会保障費等の増大に伴う都市財政の圧迫
- ICT（情報通信技術）の進展
  - ・新しいモビリティサービスの推進等
- 訪日外国人の増加
- 地球環境問題の深刻化
- 災害リスクの高まり

等

交通の現状と実態分析 ⟹

交通課題（案）

- 楕円形の都心づくりに資する交通環境の整備
- 集約型都市構造を支える交通ネットワークの充実・強化
- 地域特性に応じた移動手段の確保
  - ・デルタ市街地
  - ・デルタ周辺部
  - ・中山間地・島しょ部
- 広域的な交通ネットワークの充実・強化
- 持続可能な交通ネットワークの構築
  - ・効果的・効率的な社会資本整備
- 安全で快適な移動しやすい交通環境の確保
- 来訪者の受入環境の整備
- 災害に強いまちづくりに資する基盤の整備

等

計画のコンセプト・目標

検討の視点（案）

- にぎわいと交流を生み出す求心力のある都心の形成
- 地域特性に応じた持続可能な交通サービスの確保
- 循環の基盤となる広域的な交通ネットワークの充実・強化
- 将来にわたる安全・安心な交通ネットワークの構築
- その他、計画課題全般に対応した取組

広島市が目指す交通の将来像

（参考）将来像の実現に資する取組の例

※ 例示した取組は位置付け等が重複することがある。

⇒ 広島駅南口広場の再整備等
⇒ バス路線の競合・過密化の解消
⇒ 自転車走行空間の整備
⇒ シェアサイクルの推進
⇒ 歩行環境の改善
等

⇒ 新交通西風新都線の整備
⇒ 交通結節点整備（西広島駅周辺地区等）
⇒ バス路線のフィーダー化や需要に応じた運行形態の見直し
⇒ 公共交通サービスが行き届いていない地域における生活交通の確保（地域主体の乗合タクシー等の導入支援）
⇒ 都市と地域の骨格を作る道路や地域に密着した道路の整備
等

⇒ 国道2号東広島バイパス・安芸バイパスの整備促進及び西広島バイパス都心部延伸事業の早期再開・早期全線供用
⇒ 広島高速道路の整備
⇒ 広域的な公共交通網（鉄軌道、路線バス(空港リムジンバス、都市間高速バス 等)、航路）の充実・強化
等

⇒ 東部地区連続立体交差事業の推進
⇒ バリアフリー化の推進（公共交通、道路）
⇒ 道路・橋りょう等の老朽化・耐震対策
⇒ 広域避難路・緊急輸送道路の整備
⇒ 電線共同溝の整備
等

⇒ 日常的な自動車交通の公共交通等への転換促進（モビリティ・マネジメントの推進）
⇒ ICTや自動運転等の技術を利活用した、持続可能な公共交通サービスの提供や移動手段の確保
等

（注）点線 −−→ は、事項間の関連のうち主なものを表す。